

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年8月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	7月の価格情報		8月の価格情報 平年価格 中旬 下旬 上旬	生育及び価格の8月の見通し		
		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額					
		中旬	下旬				
葉茎菜類	キャベツ	74.19	75 (101%)	89 (120%)	74.19 (115%)	85 ・入荷量：15,431t ・主産地：群馬（79）、岩手（14）	・群馬産は、8月初旬の降ひょう被害により、一部出荷できなかつたものがあり、小玉での出荷となつてゐることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。岩手産は、高温、干ばつの影響による生育の停滞や病害虫の発生も見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び岩手産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、引き続き価格は平年を上回つて推移する見込み。
		88.91	77 (87%)	96 (108%)	88.91 (101%)	90 ・入荷量：4,311t ・主産地：群馬（77）、長野（21）	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	273.33	416 (152%)	329 (120%)	273.33 (98%)	267 ・入荷量：4,601t ・主産地：茨城（38）、青森（19）、秋田（10）、北海道（9）、千葉（4）	・茨城産は、生育は順調で現在平年並みの出荷となつており、今後は益明けに出荷は一時的に減少傾向となるものの、全体では平年並みの出荷の見込み。青森産は、干ばつ傾向であるものの、生育に特段の影響はなく順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		487.13	305 (63%)	471 (97%)	487.13 (107%)	523 ・入荷量：645t ・主産地：香川（31）、奈良（15）、徳島（12）、大阪（9）	
	はくさい	58.82	67 (114%)	86 (146%)	58.82 (158%)	93 ・入荷量：5,881t ・主産地：長野（93）	・長野産は、最近の高温の影響で生育が停滞していることに加え、8月初旬の降ひょうの被害から小玉での出荷となつてゐることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・長野産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回つて推移する価格は、引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		62.79	71 (113%)	89 (142%)	62.79 (154%)	97 ・入荷量：2,494t ・主産地：長野（100）	
	ほうれんそう	583.95	672 (115%)	668 (114%)	583.95 (125%)	729 ・入荷量：771t ・主産地：栃木（29）、群馬（28）、茨城（13）、岩手（12）	・栃木産は、最近の高温による影響で生育に停滞が見られるに加え、病害の発生も見受けられることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、作付面積が減少している山間部からの出荷となるに加え、高温の影響で生育に停滞が見られるにから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、気温が高いものの生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、最近の高温による影響で生育があまり良くないにから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・茨城産が平年並みの出荷と見込まれるものの、栃木産、群馬産及び岩手産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回つて推移する価格は、引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		670.86	652 (97%)	703 (105%)	670.86 (109%)	730 ・入荷量：389t ・主産地：岐阜（82）、北海道（13）	
	レタス (結球)	120.13	146 (122%)	172 (143%)	158.27 (96%)	152 ・入荷量：9,089t ・主産地：長野（86）、群馬（11）	・長野産は、8月初旬の降ひょうの被害から小玉での出荷となつてゐることに加え、一部で病害の発生が見られるにから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、降ひょうの被害は特段なく、一部のほ場で病害は見られるものの、生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が平年並みと見込まれるものの、長野産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年を上回つて推移する見込み。
		125.61	160 (127%)	185 (147%)	152.57 (106%)	161 ・入荷量：2,205t ・主産地：長野（99）	
	たまねぎ	84.85	158 (186%)	151 (178%)	84.85 (172%)	146 ・入荷量：9,624t ・主産地：北海道（46）、兵庫（23）、佐賀（16）	・北海道産は、天候に恵まれ生育は順調で全般的に豊作傾向で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。兵庫産は、これまで前進出荷傾向であったことから貯蔵物が少なく、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。佐賀産は、貯蔵物の出荷となつてゐるが、小玉傾向であるため、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・兵庫産及び佐賀産の出荷が平年より少なめと見込まれるものの、北海道産の出荷が平年より多めと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在、平年を大幅に上回つてゐることから、引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		84.85	158 (186%)	147 (173%)	84.85 (179%)	152 ・入荷量：3,201t ・主産地：兵庫（82）、北海道（14）	
果菜類	きゅうり	210.69	269 (128%)	246 (117%)	210.69 (118%)	248 ・入荷量：8,155t ・主産地：福島（43）、岩手（22）、秋田（13）、宮城（4）	・福島産は、干ばつなどの影響で一部に形の整つてないものがあるものの、特段の病害もなく生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。岩手産は、干ばつにより草勢が弱いにから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。秋田産は、降雨後の高温により形の整わないので多少あり、生育はあまり良くない状況であったものの、回復傾向にあるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・福島産及び秋田産の出荷が平年並みと見込まれるものの、岩手産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		221.71	273 (123%)	261 (118%)	221.71 (118%)	261 ・入荷量：2,121t ・主産地：福島（35）、北海道（28）、愛媛（17）	
	トマト (大玉)	229.51	300 (131%)	241 (105%)	229.51 (98%)	225 ・入荷量：9,898t ・主産地：青森（23）、北海道（17）、福島（17）、群馬（11）、岩手（9）、千葉（7）	・青森産は、7月は寒暖の差があつたため、着色が早く前進出荷傾向となつてゐたが、現在は病害の発生も少なく、生育は順調なにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、現在平年よりやや多めの出荷となつてゐるが、今後は最近の高温の影響で花びなどが見られるにから、平年より少なめの出荷の見込み。福島産は、一部のほ場で病害の発生が見られるものの、全体的には生育は順調であるにから、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・青森産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれるものの、北海道産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年を上回つて推移する見込み。
		271.33	310 (114%)	274 (101%)	271.33 (91%)	248 ・入荷量：2,441t ・主産地：岐阜（42）、北海道（40）	
	なす	209.55	429 (205%)	288 (137%)	209.55 (129%)	270 ・入荷量：5,145t ・主産地：栃木（31）、群馬（27）、茨城（24）、埼玉（8）	・栃木産は、一部のほ場で空風や強風の影響で擦れ果による品質の低下があるものの、病害もなく生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、最近の高温で花落ちや着果不良が懸念されるが、病害もなく生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、病害もなく生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・栃木産、群馬産及び茨城産の出荷が平年並みの出荷と見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		221.72	343 (155%)	323 (146%)	221.72 (144%)	320 ・入荷量：1,222t ・主産地：山梨（27）、徳島（11）、大阪（9）、奈良（9）、京都（8）、茨城（7）	
	ピーマン	251.50	442 (176%)	425 (169%)	263.58 (131%)	346 ・入荷量：2,448t ・主産地：岩手（43）、茨城（20）、福島（18）	・岩手産は、干ばつの影響により一部で花落ちなどが見られるにから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、6月下旬から7月中旬の曇天の影響で生育に遅れが生じたに加え、最近の高温による実の焼けにより、平年よりやや少なめの出荷となつてゐるが、今後は平年並みの出荷の見込み。福島産は、干ばつの影響で生育に停滞が見られ、一部のほ場で病害が見られるにから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、岩手産及び福島産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		266.65	426 (160%)	390 (146%)	282.16 (121%)	342 ・入荷量：618t ・主産地：兵庫（19）、北海道（14）、青森（13）、福島（10）、大分（10）、愛媛（7）、高知（7）	
根菜類	だいこん	94.60	106 (112%)	92 (97%)	94.60 (97%)	92 ・入荷量：9,568t ・主産地：北海道（72）、青森（22）	・北海道産は、天候不順により遅れていたものが出荷されたことで、現在は平年より多めの出荷となつてゐるが、今後は高温、干ばつの影響により、一部産地で生育はあまり良くない状況に加え、病害の発生も見られるにから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。青森産は、一部で病害が見られるものの、全体的には生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、北海道産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年を上回つて推移する見込み。
		100.39	109 (109%)	93 (93%)	100.39 (91%)	91 ・入荷量：3,062t ・主産地：北海道（80）、岐阜（8）、青森（7）	
	にんじん	133.01	103 (77%)	177 (133%)	123.08 (142%)	175 ・入荷量：6,467t ・主産地：北海道（86）、青森（12）	・北海道産は、干ばつの影響で小ぶりとなつており、現在平年よりやや少なめの出荷となつてゐるが、適度な降雨もあり干ばつ傾向が回復に向かつてゐるにから、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。青森産は、干ばつ傾向であるものの、生育は順調であるにから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、北海道産がやや多めと見込まれることから、現在平年を上回つてゐる価格は、平年並みに推移する見込み。
		132.62	108 (81%)	192 (145%)	123.11 (143%)	176 ・入荷量：2,232t ・主産地：北海道（91）、青森（9）	

種類	7月の価格情報			8月の価格情報			生育及び価格の8月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	平年価格		上旬		
	中旬	下旬		上旬				
いも類	さといも	344.00	561 (163%)	537 (156%)	242.66	425 (175%)	・入荷量: 499t ・主産地: 千葉(55)、宮崎(30)、鹿児島(10)、輸入(3)	・小葉産は、干ばつによる生育の遅れに加え、他品目の播種作業も重なり現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、播種作業が終了すれば増量すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、生育期の豪雨天が続いている影響で小玉傾向であることに加え、病害の発生も見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、宮崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		347.90	552 (159%)	504 (145%)	220.11	342 (155%)	・入荷量: 149t ・主産地: 宮崎(42)、鹿児島(18)、輸入(18)、大阪(12)、和歌山(9)	
	ばれいしょ	101.61	231 (227%)	170 (167%)	101.61	145 (143%)	・入荷量: 5,754t ・主産地: 北海道(73)、茨城(9)、青森(7)	・北海道産は、概ね天候に恵まれたことで、生育は順調であり、収穫作業も順調に進んでいることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は、平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		101.61	249 (245%)	186 (183%)	101.61	158 (155%)	・入荷量: 2,685t ・主産地: 北海道(78)、青森(13)	

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指標で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 句別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るものの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
 3 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。
 5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込(さといもは前年実績)、近畿は前年実績。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と句別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5.044gで前年比101%、購入金額は、2,157円で同109%となった。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)		主要野菜の小売価格(東京都区部) (単位: 円/k g)					
	年	過去5カ年平均	平成26年	平成27年				
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	100	1,755	99
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	99	1,761	101
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	99	1,939	103
4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	96	2,070	110
5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	97	2,257	113
6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	101	2,157	109
7月	4,402	1,737	4,542	1,770				
8月	4,315	1,731	4,275	1,846				
9月	4,688	1,844	4,745	2,035				
10月	5,191	1,902	5,455	1,973				
11月	4,990	1,700	5,291	1,704				
12月	5,146	1,927	5,233	1,977				

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

注: 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

注: 1 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

2 平成27年7月の値は、7月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

7月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比100%(中国は同94%、ニュージーランドは同142%)の3万1千トン、にんじんは、同105%(中国は同103%、ニュージーランドは同201%)の6千9百トン、ねぎは、106%(中国は同106%)の5千8百トンとなり、たまねぎは前年並み、にんじん、ねぎは前年を上回った。	野菜の輸入数量 (単位: トン、%)					主な野菜の輸入数量 (単位: トン、%)			
	区分	平成25年		平成26年					
		前年比	前年比	前年比	前年比				
	生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	466,571	90	81,228	113
	加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	885,205	95	151,760	96
	野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	1,351,776	93	232,988	101
	うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	666,930	93	122,408	103
	中国産シェア	52		53		49		53	

資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料: 財務省「貿易統計」)

注2: 輸入数量は、検査数量である。

注1: 平成27年7月は速報値。

注3: 冷凍を除く。

4 トピック — 平成27年上半年(1~6月)の野菜の輸入動向について —

